



令和6年11月22日  
福岡市経済観光文化局  
創業・大学連携課

福岡市政記者各位  
福岡経済記者各位

## 九州大学とのライフサイエンス分野に係る スタートアップ創出等に関する協定締結について

九州大学生命科学革新実現化拠点と福岡市は、スタートアップエコシステムを構築・提供すること等により、ライフサイエンス分野に係るスタートアップ創出・成長及び関連産業の集積を図るとともに、革新的な医薬品・医療機器等の実用化等により、持続可能な社会の発展と Well-being の実現に貢献することを目的として、協定を締結します。

つきましては、下記のとおり協定締結式を行います。高島市長も出席いたしますので、ぜひ取材をお願いいたします。

なお、本件については、九州大学記者クラブに同時提供しております。

### 記

**日 時**：令和6年11月25日（月）13時30分～14時00分（受付は13時開始）

**場 所**：九州大学病院キャンパス内  
（福岡市東区馬出3丁目1-1 大会議室B）  
※詳細については、別紙1をご参照ください。

**出席者**：福岡市長 高島 宗一郎  
九州大学生命科学革新実現化拠点長 赤司 浩一 氏  
九州大学病院 ARO 次世代医療センター長 戸高 浩司 氏  
九大 OIP 株式会社 代表取締役 大西 晋嗣 氏  
※九州大学生命科学革新実現化拠点については、別紙2をご参照ください。

### 【連携事項】

- (1) ライフサイエンス分野に係る創業環境の充実及びスタートアップの成長支援、グローバル展開に関すること
- (2) 医薬品及び医療機器等の研究開発や実用化等に向けた規制緩和に関すること
- (3) スタートアップエコシステムの構築に向けたライフサイエンス関連産業の集積に関すること

### 【お問い合わせ】

福岡市 経済観光文化局 創業・大学連携課  
担当：倉光  
TEL：092（711）4900 内線：2538



PRESS RELEASE (2024/10/24)

～起業を目指す若手人材の発掘・育成を実施する拠点～

## 九州大学が「大学発医療系スタートアップ支援プログラム」に採択されました

九州大学はこの度、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）による「橋渡し研究プログラム（大学発医療系スタートアップ支援プログラム）」に採択されました。

革新的な医薬品、医療機器の創出において、アカデミア発のスタートアップは近年ますます重要視されている一方で、その成果を社会に実装するためには、事業化を見据えた開発戦略、若手人材の発掘・育成、医療ニーズを捉えた事業計画の立案など、専門的な見地からの多角的な伴走支援が必要となります。

令和6年10月よりAMEDが開始する本事業は、橋渡し研究支援機関から選定された4機関に医療系スタートアップ支援拠点を設置して前述の支援を包括的に提供することで、大学等の優れた研究シーズを活用した革新的な医薬品・医療機器等の実用化を推進するものです。

支援拠点となった九州大学生命科学革新実現化拠点では、西日本の主要な26大学が加盟するWest Japan Academia Translational Research Network (WAT-NeW)を構築し、病院 ARO 次世代医療センターと一体となってアカデミア発の優れた研究成果の実用化を幅広く支援してきました。

本事業下においては、これまで培ってきたシームレスな開発支援の実績を踏まえて、九州・沖縄・西日本を挙げてアジアへ繋がる医療系スタートアップエコシステム QUICK (Quantum University Innovation Cycle from Kyushu)を立ち上げ、世界に向けた多重圏の医療系スタートアップ支援を推進してまいります。

## 【選定された課題】

総合知を新医療へ、九州・沖縄・西日本を挙げてアジアへ繋がる医療系スタートアップエコシステムの構築

## 【構築する医療系スタートアップエコシステム】

QUICK (Quantum University Innovation Cycle from Kyushu)



## 【選定された支援拠点】

九州大学生命科学革新実現化拠点

## 【支援内容】

九州大学生命科学革新実現化拠点を通じて、医療イノベーションの源である大学発医療系スタートアップの支援を行い、大学等の優れた研究シーズを活用した革新的な医薬品・医療機器等の実用化を推進します。

## 【関連サイト】

[文部科学省プレスリリース](#)

[AMED プレスリリース](#)

[九州大学 生命科学革新実現化拠点](#)

[九州大学病院 ARO 次世代医療センター](#)

【お問い合わせ】九州大学 生命科学革新実現化拠点

拠点長 赤司 浩一 拠点統括 戸高 浩司

TEL:092-642-4802 FAX:092-642-4528

Mail: [nw-info@med.kyushu-u.ac.jp](mailto:nw-info@med.kyushu-u.ac.jp)



医療系スタートアップエコシステム QUICK  
(Quantum University Innovation Cycle from Kyushu)



- 九州大学アジア・オセアニア教育研究機構(QAOS)および国際医療部等を通じたアジアの医療系アカデミアとの連携を深め、臨床試験を含む海外展開を強化します。
- 長崎大学熱帯医学・グローバルヘルス研究科、長崎大学病院を分担機関、国立国際医療研究センターを協力機関として感染症シーズ開発の充実を図ります。
- JST 事業 PARKS で構築した 400 人以上の事業化推進人材/CxO 人材プールによる人材供給と、強力なベンチャーキャピタルネットワークを活用して、実用化に向けたビジネス面での支援を行います。
- 九州大学ロバートファンアントレプレナーシップセンター(QREC)を中心に、筑波大学 Research Studio と相互協力し、Translational Science & Medicine Training Program(TSMTP)などの医療系スタートアップに必要な実践的教育を拠点内外に提供します。

分担機関  
長崎大学

協力機関

国立国際医療研究センター、筑波大学、WAT-NeW 参画大学(愛媛大学、大分大学、沖縄科学技術大学院大学、香川大学、鹿児島大学、川崎医科大学、関西医科大学、北九州市立大学、九州工業大学、京都府立医科大学、熊本大学、久留米大学、高知大学、佐賀大学、産業医科大学、滋賀医科大学、鳥根大学、徳島大学、鳥取大学、長崎大学、広島大学、福岡大学、宮崎大学、山口大学、琉球大学)  
福岡県、福岡市、中小機構、在福岡米国領事館、他 VC(23 社)